

# 令和7年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2025.12.18(木)

事業コード	25-G-04	学校名	高山市立山王小学校	住 所	高山市片野町6-400
実施日	9月9日(火)13:20~15:35			受講児童生徒数	60名(6年生)
開講職種数	4職種	指導者数	5名	参観保護者数	0名

## 学校アンケートの結果

- 1 体験授業全体を通して、満足していただける内容となっていましたか  
→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
- 4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください  
→ 「自分を見つめ直す」力が弱く、目指す姿が明確化できない。  
・将来の夢を持てない児童が多い。

## 会場担当教員アンケートの結果（4会場の先生）

- 1 この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか  
①大変よく伝わった → 3  
②ある程度伝わった → 1  
③あまり伝わらなかった →  
④全く伝わらなかった →
- 2 児童生徒に対するキャリア教育の視点で、この体験授業の価値や要望について、自由にお書きください。  
→ ・地元が誇る職人の技に幼いうちに触れられることは、一人一人が将来の夢を考えるうえで一つのきっかけになる貴重な機会になりました。(家具製作会場)  
・児童が職業観を広げるいい機会になった。(仕事の良い面、悪い面を忌憚なく話してくれたことで、児童も立ち止まって考える機会になったと思う。)(貴金属装身具製作会場)  
・体験的にモノづくりの楽しさを味わうことができ、多様な職、生き方を考えるきっかけの1つになると思いました。(印章彫刻会場)  
・本物から学ぶことは大変貴重な体験です。学校では予算のことなどもあり、なかなか講師を依頼できないのが現状です。(フラワー装飾会場)

## 指導者アンケートの結果（4職種の各代表）

- 1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか  
→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった  
②興味関心を示さない児童生徒も少しあったが、概ね満足できる内容であった  
③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった  
④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった
- 2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしありましたら、お聞かせください  
・子供達が、地元の産業が全国的な会社であることを知っていない。また、会社名は知っていてもどんな仕事をしているのか知らないので、学校で体験学習を通して知っていただき、興味を持つていただけたのは一つの成果だと思う。(家具製作職種)  
・全ての子供(人)達に適応する必要はなくとも、ドイツのリアルシューレ(実業学校)※のように低年齢の段階で手に職を付ける為の進路を選べる選択肢があっても良いと思います。(貴金属装身具製作職種)  
※ドイツでは、日本の小学校4年を終えた段階で、(A)ハウプトシューレ(基幹学校)、(B)リアルシューレ(実業学校)、(C)ギムナジウム(進学学校)の3つの進路に分かれて進学する。  
(B)リアルシューレは、通常第5~10学年の6年制で、終了後は上級専門学校などの全日制の職業学校(日本でいう職業高校や高等専門学校)に進む生徒と、中級の職業に就職する生徒に分かれる。  
なお、(A)ハウプトシューレは、通常5~9学年の5年制で、終了後は就職して職業訓練を受けながら就業する生徒が学ぶところ。(C)ギムナジウムは、通常5~10学年の6年制で、大学進学希望者が学ぶところ。  
・今回は各自のハンコを彫るということで、下書きを私が事前に書いてきましたが、次のような方法もあるかと思う。  
①国語の教科書から文章を一小節切り取る。  
②生徒一人一人にその中から一小節を書いてもらう。  
③その文章の中に書かれている一文字の漢字を篆書体(白文)で彫ってもらう。(印章彫刻職種)

- ・皆さん集中して話を聞いてくれていました。今回初めてモニターを使ってプレゼンができたので、画像で分かりやすく「こんな仕事があるのかー！」と発見してくれたようです。  
フラワー装飾もロボットにはできない技術職です。今後も失われないよう、技術職の魅力を小学生のうちから伝えていく場が必要であると思いました。(フラワー装飾職種)



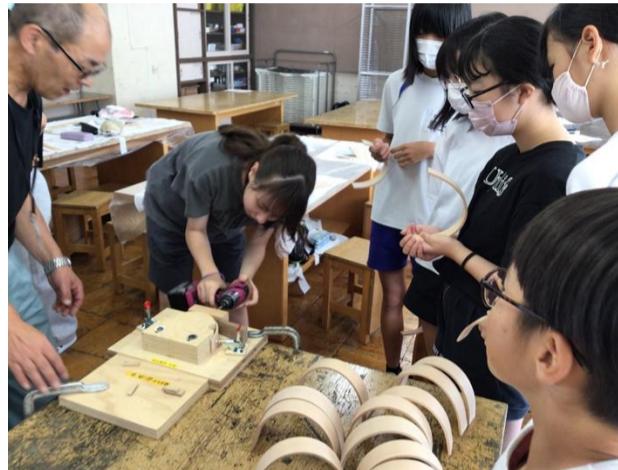
印章彫刻職種提案のサンプ

## 会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれくらい満足されましたか

	家具製造	貴金属装身具製作	印章彫刻	フラワー装飾	合計(左:人 右:%)
指導者数	2	1	1	1	5
受講児童生徒数	15	17	13	15	60
回答	とても満足した	10	15	12	50 83.3
	ある程度満足した	5	2	1	9 15.0
	あまり満足できなかった	0	0	0	1 1.7
	満足できなかった	0	0	0	0 0
	合 計	15	17	13	60 100

### 家具製造会場の様子



#### 先生の感想

- ・飛騨の地域が全国でも有名な木工、家具作りの産地であることを児童は知らなかつたため、驚いていた。
- ・実際に曲げてみて簡単に折れてしまったものが、専用の器具を用いることで曲げられることを体験をもつて学ぶことができた。

#### 児童生徒の感想

- ・家具のこといろいろ工夫をして、1つの家具が出来上がっているのか、よく分かった。
- ・最初の原木から1つの家具になっていくまでの様子を、実際に見てみたくなった。
- ・木の板を蒸すとすごく柔らかくなつて曲がるのを初めて知つたし、ただの板がたくさん工程を重ねると椅子や机になるのがすごいと思った。
- ・曲げ木が意外と堅くなくて、すんなり木が曲がつたし、切ったり穴を開けたりして、がすごく楽しかった。
- ・塗料を塗ると手触りがすごく変わつたのが印象に残つた。太い木はどうやって曲げるのか聞いてみたかった。
- ・今まで木などで物をあまり作つたりしなかつたけど、やってみたら楽しかつた。職人さんたちはこれよりももっと大変なことをしているなんて凄いと思った。
- ・作品にドリルで穴を開けたときにちょっとずれてしまつて、それを指導者の方に伝えたら、「それも個性だよ」と言ってくれて、とても嬉しかつたし、説明も丁寧ですごかつた。

## 貴金属装身具製作会場の様子



### 先生の感想

- ・実体験を子供たちに分かりやすい言葉で話していただいた。児童の心に響いたのか、色々な質問が飛び交った。
- ・体験活動では、きれいな出来上がりを想像しながら、一生懸命作成していた。じっと座っていられない児童が、一心不乱に作業に打ち込んできた姿を見て、本物に触ることは貴重な経験なんだなと感じた。(きれいなアクセサリーができた。)
- ・児童に合わせて、分かりやすい言葉で話していただいたので、子供たちも楽しそうに話を聞いていた。

### 児童生徒の感想

- ・色付けをしてこの後どうするか分からなかっただけど、800°Cぐらいの電気炉に入れて焼いて作ることを初めて知った。色々なお客さんの要望に応えて作れることも初めて知った。
- ・指輪を作るだけで最高7ヶ月もの時間がかかるということに驚いた。
- ・意外にも自分の作品が上手くできて綺麗だったので、それが印象に残った。
- ・ガラスの粉を熱で溶かすことによって、ツルツルのガラスができるのを初めて知った。
- ・作品1つ1つをしっかりと作っていることがとてもかっこいいと思ったし、この職業を始めたきっかけが消去法で貴金属装身具の仕事になったと話されて、そこからあんなに真剣にその仕事に向き合えるのは凄いと思った。
- ・色を塗るときに、全面にゆう薬を塗らないと焼くときに焦げてしまうことを教えてもらった。
- ・色が濃くなり過ぎるのが怖くて、薄くしたら色がそんなに付かなくて残念だった。

## 印章彫刻会場の様子



### 先生の感想

- ・製作することが、楽しくて、やってみたくて、子ども達は、大変意欲的に取り組みました。蠟石、自分の名前の一文字の篆書体を準備してくださったおかげだと思いました。
- ・印鑑と漢字は、中国から渡ってきた歴史、でも現在は、日本だけに印鑑文化があることは興味深い話でした。歴史の学習「漢委奴国王」の金印と結び付けて学習することができました。
- ・1万円に印字されている印の字と意味を知り、子ども達は興味をもってメモを取っていました。
- ・印鑑の製作だけでは、生活していくが、文化を引き継ぎたいという思いと「好きな事」という気持ちで続いているという話が、人の生き方の一つとして学ぶことができました。
- ・恭謙なお人柄で、児童の興味あることをうまく取り上げながら、講話をしてくださいました。カラーの製作リーフレットと映像プレゼンのおかげで、理解して作業を行うことができました。
- ・作業の性質上(刃物を使用)、受講者は15人くらいまでが適当だと思いました。

### 児童生徒の感想

- ・盛光先生がどうやって印鑑を作っているのか実演を見てみたかった。
- ・久しぶりに彫刻刀を使って、上手に削れたときが気持ちよくて楽しかった。
- ・ハンコの値段が意外にも高いことを知った。ハンコを作るのに時間がかかることも知った。
- ・作業で作ったハンコが最初彫刻刀で削る時に失敗して荒くなってしまったので、もう一度やりたかった。
- ・お札の金額の下に押されている印は「総裁の印」と読むことを初めて知った。
- ・彫った後に盛光さんが「120点」と言ってくれて嬉しかったし、楽しかった。
- ・実際の印鑑づくりは、最初に機械で荒く彫って、その後に手作業で細かく彫っていくということを初めて知った。
- ・ハンコを作るのに必要な費用は、売る時の値段の三分の一くらいの金額だということを知った。
- ・もっと他の文字も彫ってみたかった。

## フラワー装飾会場の様子



### 先生の感想

- ・講師の先生方のお話の中に、「一度見たお手本をたよりに、一人一人楽しそうに作る姿がとてもいい。」と話していただいた。自分の思いを表現することは、これからの教育活動でも大切になると感じました。
  - ・生花を見る機会は多くあるけれど、花器への投げ入れを作る様子やアレンジメントする様子をゼロから間近で見ることは、初めての児童がほとんどだった。実際に説明をして頂きながら、完成に近づいていく様子を目をキラキラさせながら見ていた児童が多くかった。先生の作品ができたときは、自然と拍手がわき、素敵な時間だった。
  - ・体験活動では、時間が経つのがあっという間と感じるという児童が多く、積極的に取り組む姿が見られた。
  - ・準備していただいたメッセージカードには、大切な人に向けて感謝の言葉を書いていた。作ったアレンジメントを大事に袋の中に入れて、持ち帰っていった。
- この日の貴重な経験が、子どもたちの心に刻まれることを期待したい。

### 児童生徒の感想

- ・フラワー装飾に国家資格があることに驚いた。綺麗な花束を作れることがすごいなと思った。
- ・きれいな花の花びらや葉っぱを使って、とってもきれいな花束を作っていてさすがだなと思った。
- ・ひまわりの葉っぱを全部取っていたことが印象に残った。初めはびっくりしたけど、葉っぱがなくてもきれいだということを知った。
- ・作品を作っていたときはとても楽しかったし、分からぬことを聞いたときに優しく教えてくれて嬉しかった。
- ・花屋さんはいろいろなことをしていて、とても大変な職業であることを知った。
- ・自分の好きなように花を束ねていくことがとても楽しかった。
- ・いつも買っているだけでは、作っている人の気持ちは分からなかったので、とても良い思い出になった。
- ・花の茎を切るときに、断面を多くするために斜めに切ったりすることを工夫した。
- ・フラワー装飾は準備が80%で生けるのが20%ということを知った。花屋さんはのんびりゆったりしているものかと思っていたら、意外と力仕事で、色んな場所を回ったりすると聞いてびっくりした。
- ・先生が1から花を束ねていてすごくきれいだった。自分たちもフラワーインジメントを作ったら、とっても可愛く仕上がって嬉しかったし、楽しかった。